

がん感染症疾病対策課感染症対策係  
 担当 中山、阿部  
 直通：092-643-3597  
 内線：3065

## 福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和5年第38週（令和5年9月18日～令和5年9月24日）

福岡県感染症情報センター

### ■ コメント

- ・第38週は、多くの定点把握疾患の報告数が前週より減少しています。
- ・咽頭結膜熱の報告数が多い状況が続いています。咽頭結膜熱は、発熱（38～39度）、のどの痛み、結膜炎といった症状が現れる小児に多い疾患です。感染を予防するために、感染した人との密接な接触は避け（タオルなどは別に使う）、流水と石けんによる手洗いやうがいをしましょう。特別な治療法はなく、ほとんどが自然に治りますが、吐き気、強い頭痛、激しい咳がある場合は早めに医療機関を受診しましょう。
- ・梅毒の報告が13件ありました。第38週までの累積報告数は652件で、昨年同時期（373件・速報値）より約1.7倍多く、過去最高だった昨年度（569件・速報値）を既に上回っています。症状や予防法などについての詳細は福岡県 HP「【注意！】梅毒の感染者が例年に比べてとても増えています（症状に関する写真も掲載しています）」（<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/baidoku2018.html>）をご覧ください。
- ・福岡県感染症情報ホームページ（[http://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc\\_fukuoka/](http://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)）では、感染症発生情報、病原体検出情報などがご覧になれます。

### ■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	13	448	239	9,937
腸管出血性大腸菌感染症	3	142	120	2,652
レジオネラ症	1	60	58	1,538
梅毒	13	652	171	10,657

### ■ 定点把握疾患報告数

     : 警報レベル

     : 注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	2,129	10.75	0.78	86,510	17.54
インフルエンザ	1,819	9.19	0.96	34,665	7.03
RSウイルス感染症	29	0.24	0.46	1,258	0.40
<b>咽頭結膜熱（警報レベル）</b>	<b>533</b>	<b>4.44</b>	<b>0.96</b>	<b>4,539</b>	<b>1.45</b>
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	289	2.41	0.68	5,562	1.77
感染性胃腸炎	434	3.62	0.96	10,035	3.20
水痘	15	0.13	1.07	267	0.09
手足口病	338	2.82	0.78	4,688	1.49
伝染性紅斑	1	0.01	1.00	51	0.02
突発性発しん	40	0.33	0.95	853	0.27
ヘルパンギーナ	191	1.59	0.71	2,442	0.78
流行性耳下腺炎	12	0.10	3.00	147	0.05
急性出血性結膜炎	1	0.04	-	10	0.01
流行性角結膜炎	47	1.81	1.00	544	0.79
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	5	0.01
無菌性髄膜炎	1	0.07	1.00	13	0.03
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	-	16	0.03
クラミジア肺炎	0	0.00	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	2	0.00

※新型コロナウイルス感染症について、現在、警報・注意報の基準値は設定されていません。